

市民が守る育てる 呉羽丘陵

～持続可能な里山再生への取り組み～

富山県 富山市
特定非営利活動法人 きんたろう倶楽部



喜びの声



受賞者
NPO法人
きんたろう倶楽部
理事長
二階堂 敏雄

コメント

里山を再生し、森と街をつなぎ、持続的な循環の流れをつくるとともに、いのち輝く森づくりや人づくり、街づくりをおこないながら、森林の再生や利活用を考え、さまざまな人と連携を図りながら、未来を担う子どもたちへ誇りをもって託せる森林都市富山の創造をめざしていきます。受賞を励みとして、今後も積極的な活動をすすめていきます。

活動の内容

- 呉羽丘陵の竹林整備
- くれは里山ナビゲーター養成講習会
- 小学生の環境地域支援
- フットパス月いちウォーク
- 呉羽丘陵たんけん隊
- クラフト講座 など

活動の経歴

平成18年 ボランティア支援組織「きんたろう倶楽部」を設立
 平成23年 NPO法人として活動をスタート
 以後、活動を継続中

3 活動の成果や波及効果等

「竹林伐採ボランティア」事業は、「きんたろう倶楽部」が主催となった平成25年度から令和2年度までの7年間に渡り、1.2ha、延べ1,191人の参加者により竹林の整備を行ってきました。また同会場で平成27年度から実施しているイベントには、延べ469人が参加し、1,295株の植樹・植株を行い、散策道の開削整備も行いました。これらの参加者にはリピーターも多く、里山の保全に大きく貢献しているだけでなく、市民ボランティアによる持続的な里山整備のモデルを作りつつあります。

平成30年度から開催している「呉羽丘陵フットパス」の月いちウォークは、本年(令和2年)12月までに27回開催し、延べ2,648人の参加を得ています。年々参加者が前年度を上回り、呉羽丘陵フットパスの日常の利用者も増加してきています。

持続的な里山再生は地域に根付き、いのち輝く森づくり、人づくり、街づくりを行い、森と街を元気にしています。



小学校の里山整備体験



小学校の自然観察



伐採竹による巨大流しそうめん



森のクラフト教室

- 所在地 富山県富山市呉羽町 外
- 活動主体及び連絡先 特定非営利活動法人 きんたろう倶楽部 (076-434-1316)
- 対象となる社会資本 呉羽丘陵(都市公園) ※管理者:富山市



1 社会資本の概要

呉羽丘陵は、富山市の都心部近郊にある丘陵性山地であり、標高145mの城山を最高峰として、南西から北東に走る長さ約7km、幅最長部2kmの丘陵です。その南東北側は神通川の側面浸食をうけ急勾配であり、西北東側はゆるく傾斜し、ラグーン地形をつくっています。古くより富山平野を二分する丘陵として、その西は呉西(ごせい)、東は呉東

(ごとう)と呼ばれ、富山の歴史・文化、人々の営みの境となっています。また、生態系上重要な位置を占める植物類、昆虫類のほか、環境省レッドリストに登録され、富山県の絶滅危惧種I類でもある「ホクリクサンショウウオ」なども生息しています。自然が豊かで眺望に富み、都市公園としても四季折々の市民の散策の場として親しまれています。



呉羽丘陵全体



呉羽丘陵からの立山眺望



ホクリクサンショウウオ

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

平成16年の熊の異常出没が社会的な課題となる中で、その原因の一つである里山荒廃を改善する目的から平成18年に市民有志でボランティア組織「きんたろう倶楽部」を設立し、持続可能な里山整備活動を始めました。平成23年には、特定非営利活動法人「きんたろう倶楽部」を設立し、ボランティアを募りながら、放置竹林の整備や、森づくりをおこなっています。また、呉羽丘陵の植物、野鳥、歴史などを学ぶ「くれは里山ナビゲーター養成講習会」の開催や地元小学生の自然観察や竹林整備体験

等の環境教育支援による『人材育成・地域交流』を通じて呉羽丘陵への関心や、自然環境の学びにも力を注いでいます。また、呉羽丘陵の遊歩道や散策路を歩く「フットパス月いちウォーク」の開催、呉羽丘陵たんけん隊(こども里山キャンプ)や森の素材を使ったクラフト講座等を開催し『里山の利活用』に貢献しています。伐採竹を利用した流しそうめん大会、森のコンサート等の里山に関わるイベント開催を実施しながら、現代に合った「新しい里山」を作り出すための活動を展開しています。



呉羽丘陵竹林整備ボランティア活動



呉羽丘陵フットパス月いちウォーク



くれは里山ナビゲーター養成講座